

副業としての学習塾時間講師のすすめ
—開倫塾、塾長時間講師研修会で考える—

開倫塾

塾長 林明夫

Q：毎月何回か時間講師研修会をやっているようですね。

A：(1)コロナも少しずつ落ち着いてきましたので、前からやりたかった塾長による小規模の「時間講師研修会」を、今年の3月から土曜日を中心に1か月に2～3回やらせていただいています。

(2)1回2時間、参加を希望する時間講師の先生方を中心に、毎回数名で行っています。

(3)開倫塾に就職したい方には、なるべく参加していただいております。



Q：どのようなこととお話するのですか。

A：(1)開倫塾はどのような学習塾であるのか、その特長をできるだけお話いたします。

(2)開倫塾の社会貢献活動として、養護施設の子どもたちには無料で授業をお受けいただいていることや、栃木刑務所の受刑者の皆様で高卒認定試験の受験を目指す方への指導、開倫ユネスコ協会の活動などをお話すると、とても興味を持ってくださいます。

(3)各教科の導入部分の授業の腕を競う全国模擬授業大会を15回にわたって主催させていただいているお話なども、興味深くお聞きいただいているようです。



Q：開倫塾の時間講師の先生方の中には、本業をお持ちで、「副業」として時間講師をしていらっしゃる先生もいるのですか。

A：(1)はい、たくさんおられます。この3月からの2時間の少人数研修会で、時間講師の先生方が様々な活動をしている中で、開倫塾にお勤めくださっていることがとてもよくわかりました。

(2)様々な本業をお持ちの中で、子どもたちに教えることが大好きなため、時間講師としてご活躍くださっていることもよくわかりました。

(3)時間講師の先生方の中には、本業を持ちながら開倫塾の英語の先生としての力量向上のために「第二言語としての英語教師(Teacher of English as Second Language)」の教授資格を取得のためにテンプル大学まで行かれた先生もおられ、頭が下がりました。



Q：時間講師の先生方をお迎えするにあたり、学習塾として考えておかなければならないことは何ですか。

A：(1)優秀な先生を見つけて時間講師をお願いし、「時間から時間までこのテキストを用いて教えてください」とお願いすることはもちろん大切です。

(2)ただ、お互いにくら忙しくて時間が取れないとはいえ、学習塾の経営者は毎年1回は時間講師の先生方と少人数でじっくり話し合い、この塾の創業の理念は何か、教育目標は何か、現在の取り組み課題は何か、今後の取り組み課題は何かなどをわかりやすくお伝えし、率直な意見交換をすることは大切と考えます。



(3)また、できうる限り塾生や担当校舎、塾全体についての情報を共有、問題意識も共有。本業に差し障りのない範囲で様々なミッションの実現協力もお願いしたいと考えます。

能力強化のための研修会などに参加する機会もできるだけ提供させていただき、ともに成長する学習塾づくりに励むべきと考えます。

Q：例えば、どのような研修会がありますか。

A：(1)模擬授業を用いた授業力アップの研修会

(2)ワード・エクセル・ズームなどのパソコン研修会

(3)思春期のメンタルヘルスの研修会などが考えられます。



Q：学習塾が行っている様々な塾内行事や社会貢献活動などにもご参加いただくとよいですね。

A：その通りです。

(1)全国の学習塾では、授業中の学習指導のほかに、様々な塾内行事を毎月のように行っているところが多いと思います。時間講師の先生方も、是非、塾内行事の担当・主役になってご活躍いただきたく思います。



(2)また、企業としての社会貢献活動を行う場合には、時間講師の先生方にも、是非、スタッフや企画部員として積極的に参加していただくようお願いすべきと考えます。

(3)なぜなら、もともと本業をお持ちの時間講師の先生方は、企画力や実行力がある方が多いので、授業外の教育活動や社会貢献活動にはうってつけだからです。

*ただし、研修会と同様、そのような場合にも交通費と事務給の支払いはさせていただくとよいと考えます。

Q：なるほど。本業をお持ちの時間講師の先生方の能力強化や自己実現にもつながりそうですね。

A：その通りです。

(1)本業をお持ちの時間講師の先生方にとって、教科を教えること自体が能力強化につながります。例えば、高校1、2年生に高校英文法IやIIを教えることは、1年間かけて高校文法を学び直すことに直結するからです。

(2)これに加えて、「PC」や「思春期のメンタルヘルス」の塾内研修会に参加することはスキルアップ、能力強化につながります。

(3)塾内行事や、企業としての社会貢献活動への参加は、趣旨や目的を十分にご理解いただき、価値観を共有していただけるものであれば、時間講師の先生方にとっても生きがいや自己実現(自分の夢や希望を実現すること)につながるものと確信します。



Q：学習塾・予備校・私立学校の経営幹部の先生方にお伝えしたいことはありますか。

A：(1)私も、後ればせながら、時間講師としてご活躍いただいている先生方とじっくりお話をする機会を、毎月数回、土曜日を中心に「時間講師研修会」と銘打ってもらっていただき、多くのことを学ばせていただきました。

(2)どうか、学習塾・予備校・私立学校の経営幹部の先生方も、定期的に、年に1回くらいは、時間講師の先生方と少人数でじっくりお話し合いをする機会を設けると、多くのことを学ばせていただけるのではないかと思います。

(3)特に、本業をお持ちの時間講師の先生方から学ばせていただくことは数知れません。また、本業を通してお考えになったことや提案などがあれば、是非、開陳していただき、将来に備えてはどうかと考えます。



Q：最後に一言どうぞ。

A：僭越ではありますが、今月も先生方がお読みになれば参考になると思われる本を、何冊か紹介させていただきます。

(1)1冊目は、開倫ユネスコ協会童話大賞の審査委員長を25年に渡りお務めいただいた、小説家の馬里邑(まりむら)れい先生の最新作「まさおさま」KK ロングセラーズ 2022年6月1日刊です。「生きることの意味は、すべてまさおさまがおしえてくれた」。先生は、祖父まさおさまの下で、やんちゃに生きながら、生きることに意味を見出し、かけがえのない子ども時代を過ごすことができました。「まさおさま、何度生まれてきても、私を孫にしてくださいね。約束だよ」。心温まる作品です。是非、塾生の皆様とご一緒にお読みください。

(2)2冊目は、ビギナーズクラシックス、日本の古典、西田友広編「吾妻鏡」角川文庫、KADOKAWA2021年11月25日刊です。NHK大河ドラマ「鎌倉殿の13人」を毎週見ながら、本書を読み、復習や予習をしているうちに、いつか読みたいなと長年思っていた「吾妻鏡」を半分近くまで読み進めることができました。ありがたい限りです。去年は、大河ドラマ「青天を衝け」で渋沢栄一をやっていたので、「論語と算盤」や「雨夜譚(あまよがたり)、渋沢栄一自伝」と、幸田露伴著「渋沢栄一伝」を、岩波文庫で読み終えることができました。先日、NHKの方とお話していたら、来年の大河ドラマは徳川家康、再来年は源氏物語だそうです。ならば、来年までに山岡荘八の徳川家康、再来年までに岩波文庫で源氏物語に挑戦しようと思案した次第です。「大河ドラマの予習・復習としての読書」も趣深いものです。

(3)3冊目は、アダム・スミス著「国富論(上・下)」日本経済新聞出版社 2007年3月23日刊で

す。来年 2023 年は、アダム・スミス生誕 300 年という記念すべき年です。今年中に、アダム・スミスの代表作「道徳感情論」「法学講義」（どちらも岩波文庫）とともに本書を読了、アダム・スミス生誕 300 年の記念すべき 2023 年を迎えたら素晴らしいと思います。夏目漱石の理解を深めるには、漱石の作品を読むと同時に、親友の正岡子規の作品を読むことが欠かせないのと同様に、アダム・スミスの理解を深めるには、親友のヒュームの著作、例えば、「市民の国について(上・下)」岩波文庫などを読むと、役立つと考えます。

- (4)4 冊目は、佐藤俊夫著「倫理学(新版)」東京大学出版会 1960 年 11 月 30 日刊です。これほどわかりやすく、また、ていねいに、倫理の歴史、習俗や道徳、人倫への道を解き明かした本はありません。同著「習俗、倫理の基底」はなわ新書 1973 年 8 月 24 日刊とともに是非、ご一読ください。
- (5)5 冊目は、青木昌彦著「青木昌彦の経済学入門、制度論の地平を広げる」ちくま新書、筑摩書房 2014 年 3 月 10 日刊です。制度とは何かをじっくり考えたいときに、とても参考になります。
- (6)6 冊目、今月の最後の 1 冊は、上川淳之著「『副業』の研究、多様性がもたらす影響と可能性」慶應義塾出版会 2021 年 3 月 30 日刊です。今月の話題にぴったりです。示唆に富み、わくわくしながら一気に読めます。是非、ご一読を。

2022 年 6 月 10 日記

